

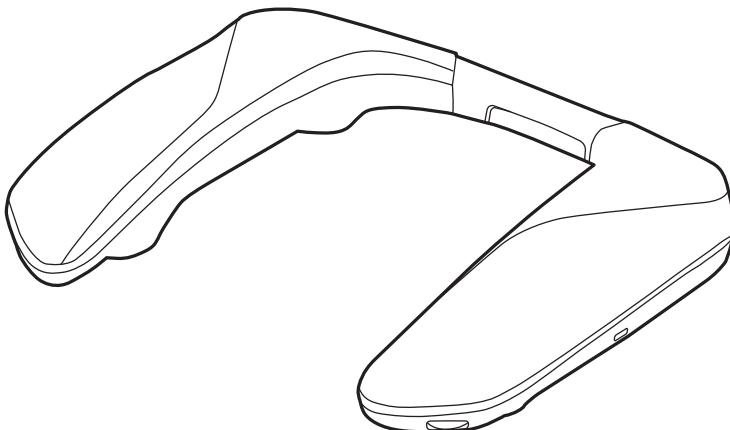
Panasonic®

取扱説明書 < 詳細編 >

ネックスピーカーシステム

品番 SC-GNW30

ワイヤレススピーカー SB-GNW10S
ワイヤレス送信機 SH-GNW30



SOUND SLAYER™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5~9 ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

DVQP3386XA/X1

本機の特長

異次元の没入感^{*}

低遅延ワイヤレス接続のゲーミングネックスピーカー

1. パソコン・ゲーム機に加え、テレビやスマホなど多様なデバイスで
迫力のサラウンド体験

2. 2.4 GHz 帯の専用無線使用により、低遅延ワイヤレス化を実現

3. Bluetooth[®] 接続に対応して、ワイヤレスでの利用シーンが大幅に拡大
ゲームプレイしながらスマホの通話アプリを使ったボイスチャットも可能

^{*} 使用感には個人差があります。

その他の機能

- 別売のアクティブサブウーハーを接続することができます。(→ 18)
- ワンタッチでサウンドモードの切り替えやマイクのミュートが可能です。(→ 21、22)
- チャット相手の通話音量や重低音のレベルを変更することができます。(→ 23)
- アプリ (SOUND SLAYER Engine) で本機の設定を変更することができます。(→ 25)

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→ ○○) で示しています。
- 製品のイラストは、実際と異なる場合があります。

付属品



付属品をご確認ください。

ワイヤレス送信機

- 本書では送信機と記載しています

**USB ケーブル（約 1 m）
(ワイヤレス送信機用)**

**AC アダプター
(SAE0005)**

●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

●付属品の品番は、2025 年 8 月現在のものです。変更されることがあります。

●付属品は本製品(SC-GNW30) 以外には使わないでください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

詳しくはパナソニックの公式通販サイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト

<https://panasonic.jp/store/>



ソフトウェアの利用に関し順守すべき事項について

本製品および本アプリをご利用いただくお客様に対し、当社は以下の内容に関わる注意事項をサイトで公開・周知しています。

- 本製品に内蔵のソフトウェアの更新
- アプリなどを通じて当社が提供するサービス
- パーソナルデータの収集・利用・第三者への提供
- 当社以外の第三者が運営するサービス
- ソフトウェアライセンスの表示
- 当社以外の第三者と連携する本製品の機能およびサービス

※ 製品により一部の内容しか該当しない場合があります。

詳しくは下記のサイトをご覧ください

<https://panasonic.jp/support/audio/download/>

本機のサポート情報について

ソフトウェアの更新など、最新のサポート情報は、下記サポートサイトをご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/audio/soundslayer/>

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。

適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。

特に静かな夜間には窓を閉めるのも一つの方法です。 音のエチケットシンボルマーク



目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。

(→ 5 ~ 9 ページ)

本機の特長	2
付属品	3

準備

各部のなまえ	10
[準備] 充電する	12
本機を充電する	12
[準備] 送信機を接続する	13
対応機器と接続する	13
Bluetooth 機器とペアリングして接続する	17
アクティブサブウーハー(別売)を接続する	18
[準備] 裝着する	19
本機と送信機を無線接続する	19
本機の電源を入れる	19

使う

基本操作	21
音量を調整する	21
音源にあった音場効果を楽しむ(サウンドモード)	21
マイクミュート	22
本機を USB ケーブルで接続した状態で使用する	22
本機の設定を変更する	23
チャット相手の通話音量とスピーカー出力のバランスを変える(音量バランス)	23
重低音を調整する(バスレベル)	23
無線接続中の動作ランプを消灯する(ライティング設定)	24
本機と送信機のペアリングをやり直す	24
2台のネックスピーカーで同時に音楽を楽しむ	25
アプリを使用して設定を変更する (SOUNDSLAYER Engine)	25

ご参考

工場出荷設定に戻す	26
使用上のお願い	26
内蔵無線機器の使用上のお願い	27
故障かな!?	29
ソフトウェアの更新	33
お手入れ	33
著作権など	33
仕様	34
廃棄するときのお願い	37
充電式電池の取り出し方	38

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。



本機は充電式電池を内蔵しています

- ・火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
 - ・電子レンジで加熱しない
 - ・分解・改造しない(製品廃棄時を除く)
- 発熱・発火・破裂の原因になります。

! 警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときは、USB ケーブルを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- USB 端子が異常に熱い
- 本機や送信機に変形や破壊した部分がある

そのまま使うと、火災、感電の原因になります。

- 本機や送信機に異常があるときは電源プラグを抜き、販売店にご相談ください。



AC アダプターのコード部やプラグ部を破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、 交流 100 ~ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところで使用しないでください。
- 機器のそばに水などの液体の入った容器や金属物をおかないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



乳幼児の手の届く場所に置かない

誤ってケーブルを首に巻き付け、窒息を起こす原因になります。

!**警告**



本機を使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。



乗り物を運転中や、周囲の音が聞こないと危険な場所で本機を使わない

事故の原因になります。

- 踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。



雷が鳴ったら、本機や送信機の使用を中止し、ACアダプター、電源プラグには触れない

感電の原因になります。

接触禁止



使用中は毛布や衣類などを本機にかぶせない

熱がこもり、外装ケースが変形したり、火災の原因になります。



自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機や送信機を使用しない

本機や送信機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機や送信機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機や送信機を装着部から 15 cm 以上離す

本機や送信機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意



AC アダプターを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、AC アダプターが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

また、引っかかってけがの原因になることがあります。



AC アダプターの DC プラグをなめない

感電のおそれがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- ワイヤレス送信機の背面および底面の通風孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



本機の装着前に音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で装着すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。



肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 夏の締め切った自動車内、直射日光の当たるところ、ストーブの近くではご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



本機や送信機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

外装ケースが破損すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災、故障の原因になることがあります。



人が通行するような場所に置かない

ケーブルが足にひっかかり接続機器や本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。

⚠ 注意



本機を磁気の影響を受ける機器に近づけない

本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。また、心臓ペースメーカーなどの医療機器を使用の場合は機器の作動に影響を及ぼす場合がありますので、本機を医療機器に近づけないでください。医療機器への影響については医師にご相談ください。



使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する

本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。

充電する時や USB 給電動作時の注意



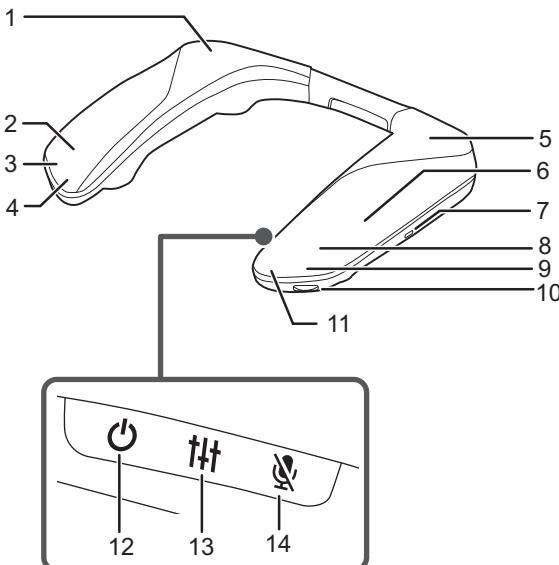
本体または USB ケーブルが濡れた状態で、USB プラグを挿入しない

濡れた状態で USB プラグを挿入すると、本体や USB ケーブルに付着した液体(水道水、海水、清涼飲料水など)や異物によるショートが発生し、異常加熱や故障の原因になります。

製品廃棄時の安全上のご注意は、「廃棄するときのお願い」(→ 37) をお読みください。

各部のなまえ

■ 本機 (ワイヤレスネックスピーカー)



- | | |
|----------------|--|
| 1 リア(R)スピーカー | 8 フロント(L)スピーカー |
| 2 フロント(R)スピーカー | 9 動作ランプ(L) |
| 3 動作ランプ(R) | 10 [VOL] ダイヤル(音量ダイヤル) |
| 4 マイク(R) | 11 マイク(L) |
| 5 リア(L)スピーカー | 12 [電源]ボタン(電源ボタン) |
| 6 内蔵アンテナ | ●押すごとに入力ソースが下記の順に切り換わります。
USB → HDMI → TV → Bluetooth |
| 7 充電端子 | 13 [サウンドモード]ボタン(サウンドモードボタン) |
| | 14 [マイクミュート]ボタン(マイクミュートボタン) |

動作ランプの点灯・点滅の例

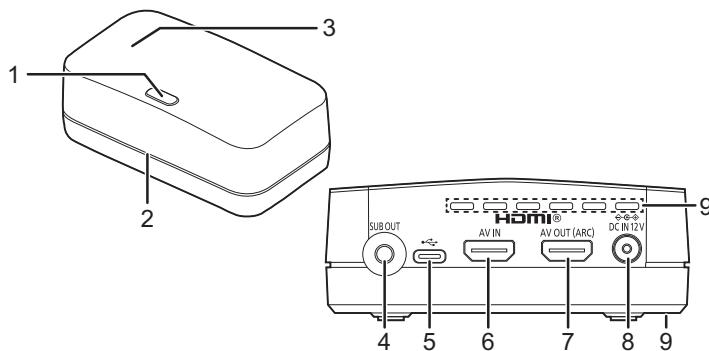
動作ランプ(L)	動作ランプ(R)	状態
消灯	点灯(赤)	充電中
点灯(水色) ^{※1※2}	点灯(水色) ^{※1※2}	無線接続中
消灯	ゆっくり点滅(水色) ^{※1}	無線接続待機中
消灯	速い点滅(青)	無線接続のペアリング(登録)待機中
点灯(赤)	点灯(赤)	マイクミュート中

※1 動作ランプ(R)のみが点滅(赤)している場合、電池の残量が少なくなっています。(→ 12、「電池残量のお知らせ」)

※2 アプリ(→ 25)で「ライティング設定」をOFFにしているときは、約3秒後に消灯します。

各部のなまえ(続き)

■ 送信機



- | | |
|--|---|
| 1 [INPUT/-PAIRING] ボタン(インプット / ペアリングボタン) | 5 USB 端子 |
| ●押すごとに入力ソースが下記の順に切り換わります。
USB → HDMI → TV → Bluetooth | 6 HDMI 映像・音声入力端子 [AV IN]
AV/ゲーム |
| 2 動作ランプ | 7 HDMI 映像・音声出力端子
[AV OUT(ARC)]
テレビ (ARC 対応) |
| 3 内蔵アンテナ | 8 DC 入力端子 [DC IN] |
| 4 音声出力端子 [SUB OUT] | 9 通風孔 |

動作ランプの点灯・点滅の例

動作ランプ	状態
点灯(水色)	無線接続中、Bluetooth 接続中
ゆっくり点滅(水色)	無線接続待機中
ゆっくり点滅(青)	Bluetooth 接続待機中
点滅(水色)	無線接続のペアリング(登録)待機中
点滅(青)	Bluetooth のペアリング(登録)待機中
点灯(赤)	マイクミュート中
点滅(赤)	入力ソースが USB の場合: USB ケーブルが正しく接続されていないときに点滅します。 USB ケーブルを接続し直してください。 入力ソースが TV の場合: 下記の状態のときに点滅します。設定を確認してください。 - テレビと ARC 接続ができない (→ 13) - テレビの音声出力設定が PCM に設定されていない (→ 16)

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

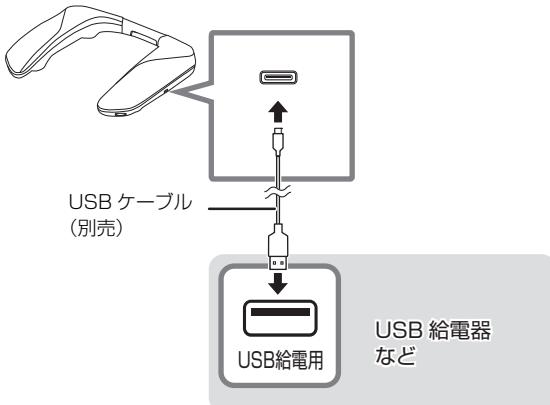
- ～ AC(交流)
- DC(直流)
- 回 クラス II 機器(二重絶縁構造)
- ⌚ スタンバイ

[準備] 充電する

本機を充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。USB AC アダプター(別売)と USB Type-C ケーブル(別売)を使って充電してください。

- 充電中は動作ランプ(R)が点灯(赤)し、充電が終わると消灯します。



■ 充電時間

約 4 時間

- DC 5 V出力電流が 1500 mA 供給可能な USB AC アダプター(別売)を使用時
- 周囲温度 25 °C/電池を使い切った状態で充電時

お知らせ

- USB 給電器などを使用する場合は、USB ケーブルを接続してから、コンセントに取り付けてください。
- DC 5 V出力電流が 1500 mA 以上供給可能な USB AC アダプターをご使用ください。出力電流が 1500 mA 未満の機器も使用できますが、正しく充電できない場合があります。
- USB ケーブルをパソコンの USB 充電に対応した USB 端子に接続しても充電できます。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- パソコンがスタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されないことがあります。
- 長期間使用しない場合は、内蔵の充電式電池が劣化するおそれがありますので、半年に 1 度は充電してください。
- 本機に USB ケーブルを接続したままで使用した場合、音量が小さくなります。
- アプリ (→ 25) でも電池残量を確認することができます。

■ 電池残量のお知らせ

- 電池残量が 20 % になると、操作音でお知らせし、動作ランプ(R)が点滅(赤)に変わります。
- 本機の電源が「入」の時、[] ボタンを長押しすると、動作ランプで電池の残量を確認することができます。

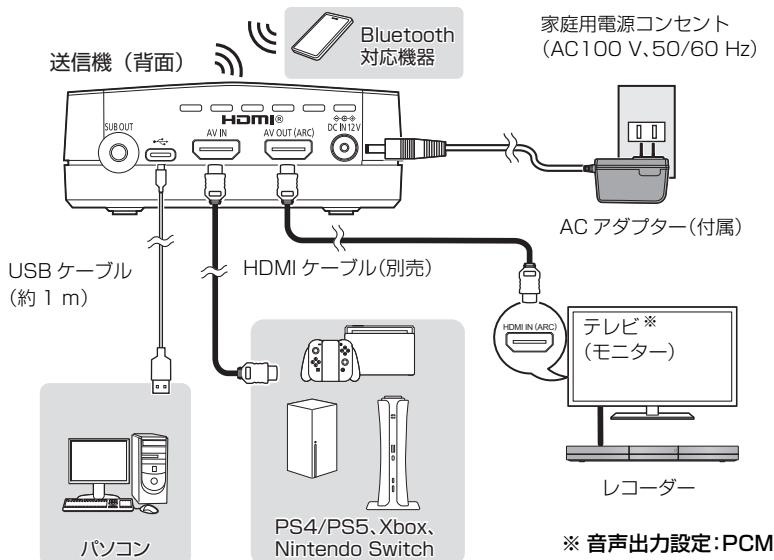
電池残量	動作ランプ(L)	動作ランプ (R)
71 % ~ 100 %	点灯(青)	点灯(青)
21 % ~ 70 %	点灯(青)	消灯
6 % ~ 20 %	点灯(赤)	消灯
5 % 以下	点滅(赤)	消灯

[準備] 送信機を接続する

対応機器と接続する

対応機器(パソコン、PS4/PS5、Xbox、Nintendo Switchなど)と送信機を接続します。

- すべての接続が完了するまで、送信機のACアダプターをコンセントに接続しないでください。
- 送信機の動作ランプは、本機と無線接続されているときは点灯(水色)、本機と無線接続されていないときは点滅(水色)します。
- HDMIケーブルは「ウルトラハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 送信機の動作ランプが赤色で点滅する場合は、接続や設定が正しくできているか確認してください。(→ 11, 16)
- お使いの環境やOSによっては、本機を正しくお使いいただくために、パソコン側のサウンド設定の変更が必要です。(→ 14、「パソコンと接続するときは」)



※ 音声出力設定:PCM

お知らせ

- ACアダプターは、送信機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
- USBケーブルは付属品または市販品を使うことができます。市販品の場合は、USB Type-Cケーブル(約1m)、データ転送対応タイプをお使いください。
- テレビと接続する場合は、テレビ側のHDMI IN端子はARC対応の端子を選んでください。また、テレビの音声出力設定をPCM出力に変更してください。(→ 16、「テレビの設定を変更する」)
- 本機と送信機が無線接続されていない場合、動作ランプは消灯します。動作ランプは消灯しますが、本機の電源が入ると無線接続できます。本機と無線接続したり、[INPUT-/PAIRING]ボタンを操作すると、再び点灯します。
- 長期間使用しないときは、送信機のACアダプターの電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。待機状態でも、電力を消費しています。(スタンバイ時の電力 → 35)

[準備] 送信機を接続する(続き)

パソコンと接続するときは

お使いの環境やOSによっては、本機を正しくお使いいただくために、パソコン側のサウンド設定の変更が必要です。

送信機を接続したときに2つのデバイスとして表示されますので、以下のように設定してください。

■ 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」を「再生」の既定のデバイスにする



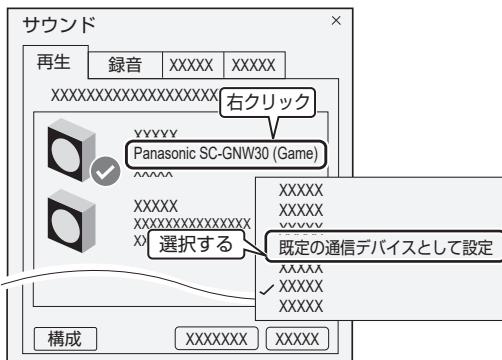
- 1 タスクバーのスピーカーアイコンをクリックする
- 2 音量調整バーの右側の「」をクリックする
- 3 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」を選択する

■ 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」を「再生」の既定の通信デバイスにして、「Panasonic SC-GNW30 (Chat)」を「録音」の既定の通信デバイスにする

- 1 タスクバーのスピーカーアイコンを右クリックして、「サウンドの設定」—「サウンドの詳細設定」を選択する



- 2 表示された画面で「再生」タブを選択する
- 3 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」を右クリックして、「既定の通信デバイスとして設定」を選択する
 - スピーカーのプロパティは、お買い上げ時の設定から変更する必要はありません。

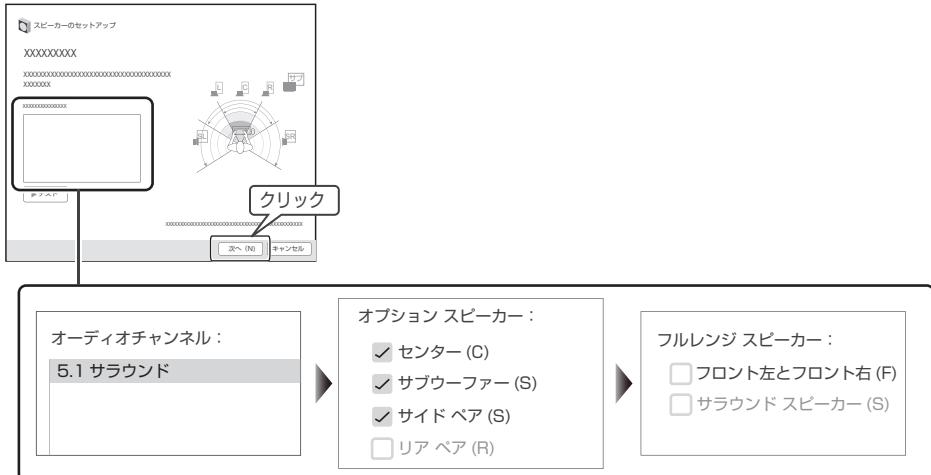


- 4 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」が選択されている状態で「構成」をクリックする

[準備] 送信機を接続する(続き)

5 スピーカーのセットアップ画面で各設定を確認し、「次へ」をクリックする

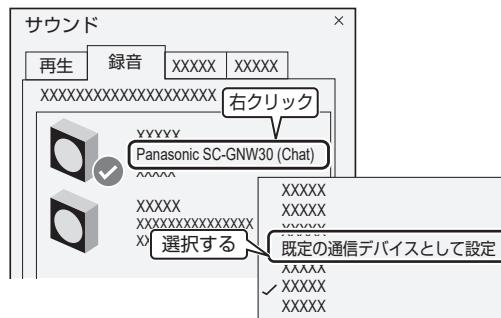
- 各項目は、お買い上げ時の設定から変更する必要はありません。



6 「完了」をクリックする

7 再び手順 2 の画面を表示し、「録音」タブを選択する

8 「Panasonic SC-GNW30 (Chat)」を右クリックして、「既定の通信デバイスとして設定」を選択する
 •スピーカーのプロパティは、お買い上げ時の設定から変更する必要はありません。



お知らせ

- USB ケーブルを別の端子に差し直した場合やパソコンを再起動した場合に、パソコンの仕様によって設定が変わることがあります。その場合は、再度パソコンのサウンド設定を「Panasonic SC-GNW30 (Game)」に選択してください。
- 「Panasonic SC-GNW30 (Game)」がパソコンに表示されない場合は、送信機の入力ソースを USB に変更してください。

[準備] 送信機を接続する(続き)

テレビの設定を変更する

送信機とテレビを HDMI ケーブルで接続する際、本機から正しく音声を出力するためにテレビの設定を変更する必要があります。ここでは当社製テレビ(ビエラ)を例に説明します。

●テレビ(ビエラ)によって操作や項目名は異なります。詳しくはテレビ(ビエラ)の取扱説明書、電子取扱説明書をご覧ください。

- 1 テレビのデジタル音声出力を「PCM」にする
 - (操作の一例) [メニュー] ボタンを押し、「音声調整」-「HDMI 音声フォーマット」で「PCM」を選ぶ。
- 2 音声出力先を「シアター」にする
 - (操作の一例) [メニュー] ボタンを押し、「音声調整」-「音声を切り換える」で「シアター」を選ぶ。

●送信機を接続し直したときや本機を工場出荷設定に戻したときも、必要に応じて上記の操作を行ってください。

[準備] 送信機を接続する(続き)

Bluetooth 機器とペアリングして接続する

準備

- 本機と Bluetooth 機器の電源を入れ、Bluetooth 機器を送信機に近づけてください。
- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 必要に応じて、Bluetooth 機器の説明書で操作方法などを確認しておいてください。

■ Bluetooth 機器を登録する

- 1 送信機の動作ランプが速く点滅(青)するまで [INPUT/-PAIRING] ボタンを押したままにする
 - 動作ランプがゆっくり点滅(青)している場合は、一度 [INPUT/-PAIRING] ボタンから手を離し、操作をやり直してください。
- 2 Bluetooth 機器側で Bluetooth の接続画面を開き、「SC-GNW30」を選んで接続する

- 送信機と Bluetooth 機器が接続されると、送信機の動作ランプが水色で点灯します。

■ 登録済みの Bluetooth 機器を接続する

- 1 本機の [△] ボタンを押して入力を「Bluetooth」に切り換える
- 2 Bluetooth 機器側で Bluetooth の接続画面を開き、「SC-GNW30」を選んで接続する

お知らせ

- 接続できる Bluetooth 機器は 1 台です。
- 送信機に登録できる Bluetooth 機器は最大 8 台です。最大登録数を超えて登録すると、登録の古い Bluetooth 機器から順番に上書きされるため、Bluetooth 機器の登録が消去されることがあります。再度、お使いいただくには登録をやり直してください。
- アプリ (→ 25) で Bluetooth の自動接続設定を変更することができます

[準備] 送信機を接続する(続き)

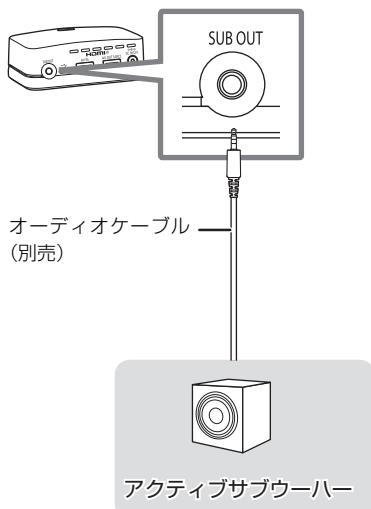
アクティブラウバー(別売)を接続する

送信機の音声出力端子(SUB OUT)にアクティブラウバーを接続すると、重低音をアクティブラウバーから出力することができます。

接続するには、別売のオーディオケーブルが必要です。

- ノイズ発生する可能性があるため、3 m 以下のオーディオケーブル(別売)をご使用ください。
- 接続方法や使用方法は、アクティブラウバーの説明書もご覧ください。

接続例)



[準備] 装着する

向きに注意しながら、本機を肩に掛けるようにして装着してください。



本機と送信機を無線接続する

本機の電源を入れる

本機の電源を入れる前に、あらかじめ送信機を対応機器と接続ケーブルで接続しておいてください。

1 本機の [↓] ボタンを動作ランプ(R)が点滅(水色)するまで、約2秒間押したままにする

本機と送信機が無線接続を開始します。

無線接続が完了すると、本機と送信機は以下の状態になります。送信機の動作ランプについては、「入力ソースと送信機の動作ランプの状態」(→ 20)をお読みください。

本機	動作ランプ(L)	点灯(水色) ^{※1※2}
	動作ランプ(R)	点灯(水色) ^{※1※3}
送信機	動作ランプ	点灯(水色)

※1 アプリ (→ 25) で「ライティング設定」を OFF にしているときは、約 3 秒後に消灯します。

※2 電池残量が 20 % になると、消灯します。

※3 電池残量が 20 % になると、点滅(赤)します。

2 本機の [↓] ボタン、または送信機の [INPUT/-PAIRING] ボタンを押し、接続している機器を選ぶ

- 押すごとに入力ソースが下記の順に切り換わります。

USB → HDMI → TV → Bluetooth

USB、HDMI、TV を選んだ場合：

対応機器の入力を送信機が接続されている入力に切り替え、送信機に接続している機器で再生の操作を行ってください。

Bluetooth を選んだ場合：

送信機に接続している Bluetooth 機器で再生の操作を行ってください。

本機の電源を切るには

[↓] ボタンを動作ランプ(L)が 3 回点滅するまで、約 2 秒間押したままにする

- 動作ランプ(L)が消灯し、本機の電源が切れます。

[準備] 本機と送信機を無線接続する(続き)

■ 入力ソースと送信機の動作ランプの状態

入力ソース	動作ランプの色と点灯・点滅パターン	状態
USB	点灯(水色)	USB ケーブル接続中
	点滅(赤)	USB ケーブル未接続
HDMI	点灯(水色)	HDMI ケーブル接続中 / 未接続
	点滅(赤)	データフォーマット異常
TV	点灯(水色)	HDMI ケーブル接続中かつ、音声出力フォーマット正常(PCM)
	点滅(赤)	HDMI ケーブル接続中かつ、音声出力フォーマット異常(PCM 以外)
		HDMI ケーブル未接続
Bluetooth	点灯(水色)	Bluetooth 接続中
	ゆっくり点滅(青)	Bluetooth 接続待機中
	点滅(青)	Bluetooth のペアリング(登録)待機中

お知らせ

- 本機と送信機が無線接続されない場合、ペアリングし直してください。(→ 24)
- 音声がひずむときは音量を下げてください。
- 過大な入力信号があった場合、安全のために本機の機能が自動的に止まり、電源が切れる場合があります。
- 無線接続中に無音の状態が5分以上続いた場合、本機の電源は自動的に切れます。(オートオフ機能)
- 他機器からのノイズの影響で、オートオフ機能が働かない場合があります。
- オートオフ機能はアプリ(→ 25)で設定を変更できます。(お買い上げ時の設定: オン(5分))
- オートオフ機能をオフ(無効)にするとエネルギー消費が増加します。

基本操作

音量を調整する

音量を調整します。

[VOL] ダイヤルを回す

- 最小音量と最大音量のとき、操作音が鳴ります。

お知らせ

- 電源を切っても、音量の設定は入力ソースごとに保持されます。
- アプリ (→ 25) でも音量を調整することができます。

音源にあった音場効果を楽しむ(サウンドモード)

サウンドモードを切り換えることで、接続された機器からの映像に適した音場効果を楽しむことができます。(お買い上げ時の設定: RPG)

[+/-] ボタンを押す

[+/-] ボタンを押すと、現在のモードを音声ガイダンス(英語)でお知らせします。

(Custom 1/2/3 のときは、操作音でお知らせします)

お知らせのあと、3 秒以内に再度 [+/-] ボタンを押すと、モードが切り換わります。

- 切り換えたモードを音声ガイダンス(英語)でお知らせします。

RPG	RPG(ロールプレイングゲーム)に適したモードです。
FPS	FPS(ファーストパーソンシューティングゲーム)に適したモードです。
Voice	ボイスを強調します。人の声が聞き取りやすいモードです。
Cinema	映画ならではの立体感や迫力のある音を楽しめます。
Music	楽器や歌を迫力のある音で楽しめます。
Stereo	リアスピーカーからもフロントスピーカーと同じ音を出力し、ステレオ音声を楽しむモードです。
Live	スタジアムの臨場感を感じながら、音楽ライブを楽しめるモードです。Sports モードよりも低音域を強調します。
Sports	スタジアムの臨場感を感じながら、スポーツ観戦を楽しめるモードです。スタジアムの広がりや観客の歓声を重視しています。
Anime	アニメキャラクターのセリフが聞き取りやすく、バトルシーンや声優の声を楽しめるモードです。
Custom 1/2/3	アプリ (→ 25) で登録すると選択できるようになります。

お知らせ

- 設定は再度切り換えるまで保持されます。
- アプリ (→ 25) でもサウンドモードを切り換えることができます。

基本操作(続き)

マイクミュート

マイクを ON/OFF します。

[] ボタンを押す

本機の動作ランプ(L)と動作ランプ(R)、送信機の動作ランプが点灯(赤)し、マイクミュートになります。
 • もう一度押すと、解除されます。

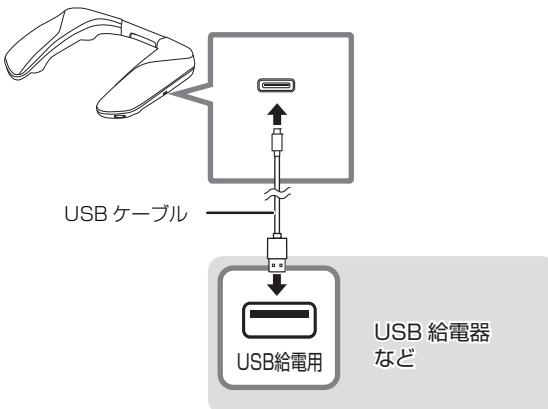
お知らせ

- 電源を切っても、マイクミュートは保持されます。
- マイクミュートは無線接続中に切り換えることができます。

本機を USB ケーブルで接続した状態で使用する

本機の電池残量が少ないときに、本機を USB AC アダプターまたはパソコンの USB 端子に接続して使用することができます。

- DC 5 V 出力電流が 900 mA 以上供給可能な USB AC アダプターまたはパソコンの USB 端子に接続してください。
- USB からの供給電力が不足している場合、本機の動作ランプ (L)(R) が約 1 分間点滅(緑)してから電源が切れます。



お知らせ

- 本機を USB ケーブルで接続した状態で使用しているときは、本機は充電されません。
- 最大音量は小さくなります。
- すべての USB ケーブルでの動作を保証するものではありません。

本機の設定を変更する

チャット相手の通話音量とスピーカー出力のバランスを変える(音量バランス)

スピーカーから出力されるチャット相手の音声出力とスピーカー音量のバランスを調整します。

(お買い上げ時の設定:0(同じバランス))

音量バランス調整とは、全体の音量を変えずに、「チャット相手の声」や「ゲームの効果音」といった特定の音源の聞こえやすさを調整する機能です。例えば、「チャット相手の声」をより大きく聞きたい場合は、「ゲームの効果音」の音量を下げることで調整します。同様に、「ゲームの効果音」を大きくしたい場合は、「チャット相手の声」の音量を下げます。

1 [!] ボタンを押しながら、[VOL] ダイヤルを [+] 方向に動作ランプが点滅(青)するまで回す

- 音量バランスモードになると、動作ランプ(L)と動作ランプ(R)が3回ずつ点滅(青)を繰り返します。

2 音量バランスモードになっているときに、[VOL] ダイヤルを回して調整する(11段階)

- [+] 方向に回すと、チャット音量のバランスを大きくします。
- [-] 方向に回すと、サウンド音量のバランスを大きくします。
- 最大値(チャット音量バランス最大)、同じバランス、最小値(サウンド音量バランス最大)のとき、操作音が鳴ります。
(最大値と最小値のときは2回、同じバランスのときは1回鳴ります)

3 [VOL] ダイヤル以外のボタンを押して、設定を終了する

- 音量バランスモードのまま無操作の状態が10秒以上続いた場合、自動で設定を終了します。

お知らせ

- 電源を切るまたはセレクター切り換えて、設定は0(同じバランス)に戻ります。

- 無線接続中のみ調整できます。

- アプリ(→25)でも音量バランスを切り換えることができます。

重低音を調整する(バスレベル)

スピーカーから出力される低音の量を調整します。

(お買い上げ時の設定:レベル3)

1 [!] ボタンを押しながら、[VOL] ダイヤルを [-] 方向に動作ランプが点滅(青)するまで回す

- バスレベルモードになると、動作ランプ(L)と動作ランプ(R)が2回ずつ点滅(青)を繰り返します。

2 バスレベルモードになっているときに、[VOL] ダイヤルを回して調整する(5段階)

- [+] 方向に回すと、低音の量を大きくします。
- [-] 方向に回すと、低音の量を小さくします。
- 最大値(レベル5)、調整なし(レベル3)、最小値(レベル1)のとき、操作音が鳴ります。
(最大値と最小値のときは2回、調整なしのときは1回鳴ります)

3 [VOL] ダイヤル以外のボタンを押して、設定を終了する

- バスレベルモードのままで無操作の状態が10秒以上続いた場合、設定を終了します。

お知らせ

- 設定は再度切り換えるまで保持されます。

- 無線接続中のみ調整できます。

- アプリ(→25)でもバスレベルを切り換えることができます。

本機の設定を変更する(続き)

無線接続中の動作ランプを消灯する(ライティング設定)

本機の送信機との無線接続中を表す動作ランプ(水色)の点灯 / 消灯の設定を変更します。
(お買い上げ時の設定:点灯)

1 送信機の AC アダプターを抜く

2 [!] ボタンを動作ランプが点滅(青)するまで、約 5 秒間押したままにする

- 動作ランプ(L) と動作ランプ(R)が 1 回点滅 : 消灯に設定
- 動作ランプ(L) と動作ランプ(R)が 2 回点滅 : 点灯に設定

お知らせ

- 設定は再度切り換えるまで保持されます。
- アプリ (→ 25) でもライティング設定を切り換えることができます。

本機と送信機のペアリングをやり直す

本機と送信機の無線接続ができない場合に、ペアリングをやり直すことで、無線接続ができるようになります。

1 送信機の [INPUT/-PAIRING] ボタンを長押しする

- 送信機の動作ランプが速く点滅(水色)します。

本機の電源を切った状態から以下の操作を行ってください。

2 [!] ボタンを動作ランプ(R)が速く点滅(青)するまで、約 6 秒間押したままにする

- 本機と送信機が無線接続のペアリングを開始します。

無線接続が完了すると、本機と送信機は以下の状態になります。

本機	動作ランプ(L)	点灯(水色)
	動作ランプ(R)	点灯(水色)
送信機	動作ランプ	点灯(水色)

本機の設定を変更する(続き)

2台のネックスピーカーで同時に音楽を楽しむ

メイン機(1番目)とサブ機(2番目)のネックスピーカーシステムで同じ音を楽しむことができます。

■ サブ機(2番目)のネックスピーカーを追加する際の設定手順

- 2台目のネックスピーカーを送信機に追加でペアリング設定する際は、必ず、接続済みメイン機(1番目)の電源を切った状態から開始してください。

設定手順

- 2台目として追加するネックスピーカー(以下、「本機」と記載)を用意してください。
 - SC-GNW10/SC-GNW10S/SC-GNW30のネックスピーカーをお使いいただけます。
 - SC-GNW10は、最新のファームウェアに更新してください。

1 送信機に AC アダプターを接続する

2 送信機の動作ランプが消灯していることを確認する

- 点灯 / 点滅している場合は、すべてのネックスピーカーの電源を切ってください。

3 本機の電源を切った状態から [↓] ボタンを約 6 秒間押したままにする

- 動作ランプ(R)が速く点滅(青)します。

4 本機の [!] ボタンを押す

- 動作ランプ(R)が 2 回点滅(青)を繰り返します。

5 送信機の [INPUT/-PAIRING] ボタンを動作ランプが点滅(水色)するまで押したままにする

- 本機の動作ランプ(L)(R)が水色で点灯したら完了となります。

お知らせ

- 2台同時接続時は下記の制限があります。
 - メイン機とサブ機の音量やサウンドモードなどは同じになります。
 - サブ機は電源入 / 切と接続以外の操作をすることはできません。
 - サブ機ではマイク機能を使用できません。
 - アプリ (→ 下記)に表示されるのはメイン機の情報のみです。また、操作はメイン機に対してのみ可能です。
 - メイン機またはサブ機のいずれかが USB ケーブルを接続したまま使用していると、2台とも音量が小さくなります。
- メイン機のみ電源を切った場合、サブ機がメインに切り替わります。音量調整などの操作が可能になります。

アプリを使用して設定を変更する (SOUND SLAYER Engine)

アプリを使用して本機の設定を変更することができます。

- イコライザーの設定
 - 前後のスピーカーの音量バランスの調整(スピーカーバランス)
 - 動作ランプを消灯させる(ライティング設定)
 - ソフトウェアの更新
 - 他のセレクターの音に重ね合わせるチャット音声を変更する
 - 映像と音声のずれを調整する(音声ディレイ)
 - 優先音声チャットセレクターの設定
- など

アプリに関する詳細は以下ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/software/sse/>

工場出荷設定に戻す

本機を廃棄したり譲渡するなど、本機をお買い上げの状態に戻す場合に行います。

工場出荷設定に戻すには、本機と送信機が無線接続している必要があります。

1 音量が最小値[0(ゼロ)]になるまで [VOL] ダイヤルを [-] 方向に回す

- 音量が最小値[0(ゼロ)]になると、操作音が鳴ります。

2 [+] ボタンと [-] ボタンを約 5 秒以上押し続ける

- 操作音が鳴り、工場出荷設定モードになります。
- 工場出荷設定モードになると、動作ランプ(L)と動作ランプ(R)が 1 秒ごとに 1 回点滅(青)します。

3 工場出荷設定モードになっているときに、[-] ボタンを押す

- 本機と送信機の各設定値が初期化され、工場出荷設定に戻ります。(本機の電源は切れます)

お知らせ

• 工場出荷設定を実行しても、本機と送信機のペアリング情報は消えません。(再ペアリングする必要はありません)

使用上のお願い

■ 使用、保管場所について

- 本機は屋内で使用してください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所で使用したり、置いたりしない。
- ほこりの多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 振動の多い場所で使用したり、置いたりしない。
- 風呂場など、湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない。

■ 取り扱いについて

- 落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- プラグの先端の汚れにより、音途切れや雑音が入る場合があります。その場合は、プラグやプラグアダプターの先端を柔らかい乾いた布でふいてください。

内蔵無線機器の使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。

他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

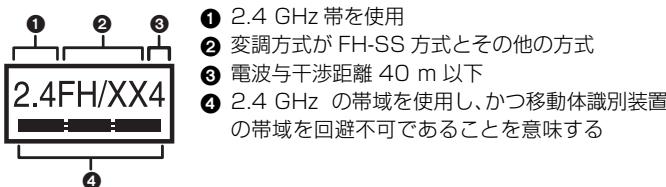
使用上の注意

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用周波数を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、下記の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：Diga（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口（→付属の取扱説明書 表面）

■ 周波数表示の見方



■ 機器認定

● 本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解 / 改造する
- ・定格銘板を消す

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 全ての Bluetooth® 機能対応機器との Bluetooth® 無線通信を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

内蔵無線機器の使用上のお願い(続き)

■ 使用可能距離

- ・見通し距離 10 m 以内で使用してください。
- ・間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

■ 他機器からの影響

- ・磁場・静電気・電波障害が発生するところでは使用しないでください。
- ・次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - ・電子レンジ
 - ・デジタルコードレス電話
 - ・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く(ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
 - ・電波が反射しやすい金属物などの近く
- ・放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器が正しく接続されていますか。(→ 13) ● 端子やプラグが汚れていませんか。端子やプラグを柔らかい乾いた布でふいてください。 ● 接続している機器でミュートまたは小さい音量になってしまいか。接続している機器で音量を調整してください。 ● 接続している機器の音声出力デバイスとして「Panasonic SC-GNW30 (Game)」が選択されているか確認してください。(→ 14) USB ケーブルを別の端子に差し直した場合やパソコンを再起動した場合に、パソコンの仕様によって設定が変わることがあります。その場合は、再度パソコンのサウンド設定を「Panasonic SC-GNW30 (Game)」に選択してください。 ● 本機の電源が入っているか確認してください。 ● 本機と送信機が無線接続されていますか。無線接続状態を確認してください。(→ 10, 11) ● 無線接続中に無音の状態から5分以上続いた場合、本機の電源は自動的に切れます。(オートオフ機能)再度、本機の電源を入れてください。(→ 19) ● 入力ソースが USB の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> ① USB ケーブルを使って接続し直してください。 ② AC アダプターの抜き差しをしてください。 それでも点滅(赤)している場合は、USB ケーブルが劣化や破損していないか確認してください。 ● 入力ソースが HDMI の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> - データフォーマットの異常が発生しています。接続機器の音声フォーマットを PCM にしてみてください。 ● 対応機器との接続や設定を見直しても送信機の動作ランプが点滅(赤)し続けるときは、AC アダプターをコンセントから抜き、5 秒以上待って再度 AC アダプターを差し込んでください。送信機が正常に動作しないときも、同様の方法をお試しください。
音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続している機器の音声出力デバイスとして「Panasonic SC-GNW30 (Game)」が選択されているか確認してください。(→ 14) USB ケーブルを別の端子に差し直した場合やパソコンを再起動した場合に、パソコンの仕様によって設定が変わることがあります。その場合は、再度パソコンのサウンド設定を「Panasonic SC-GNW30 (Game)」に選択してください。 ● 本機の音量だけでなく、各接続機器の音量も上げてください。 ● 本機を USB ケーブルで接続した状態で使用する場合、音量が小さくなります。本機から USB ケーブルを外して使用してください。 ● アプリ(→ 25)で、イコライザーをお好みに調整することができます。ブースト方向に調整することで、より大きな音量で再生することができます。 ● アプリ(→ 25)または本機の設定(→ 23)で、バスレベルを調整することができます。最大値の5にすることで、より迫力のある音声を再生することができます。 ● コンテンツに問題がないか、本機以外の音楽再生機で十分な音量で再生されるか確認してください。 ● 他のコンテンツを再生し、十分な音量で再生されるか確認してください。 ● 他の接続機器から再生し、十分な音量で再生されるか確認してください。

故障かな!? (続き)

症状	原因と対応のしかた
音が途切れる 雑音が多い 音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> USBポートは正常ですか。お使いのパソコンに他のUSBポートがある場合は、他のUSBポートをお試しください。 USBハブ経由でパソコンに接続されていませんか。お使いのパソコンに他のUSBポートがある場合は、他のUSBポートをお試しください。 無線LAN機器や電子レンジなど、2.4 GHz 帯の電波を利用する機器と同時に使用すると通信が途切れたりします。本機と送信機を近づけ、他の干渉機器を遠ざけてください。 使用していない無線LAN機器の電源を切ってください。または無線LAN機器の近くで使用しないでください。 本機と送信機の間を金属や壁などの障害物や人体で遮っていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> - 送信機は本機から見て左前方に置き、送信機と本機のアンテナができるだけ近づけてください。 - 本機と送信機の間は手やモニター、パソコンなどの金属筐体等で遮ることがないようにしてください。 使用可能通信距離(約 10 m)を超えていませんか。本機と送信機を近づけてください。
本機の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 本機が充電されているか確認してください。(→ 12)
送信機が動作しない 送信機の動作ランプが点灯・点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターの接続を確認してください。
本機と送信機が無線接続できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機と送信機のペアリングをやり直してください。(→ 24) 入力ソースが USB の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ol style="list-style-type: none"> USB ケーブルを使って接続し直してください。 AC アダプターの抜き差しをしてください。 それでも点滅(赤)している場合は、USB ケーブルが劣化や破損していないか確認してください。 入力ソースが HDMI の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> - データフォーマットの異常が発生しています。接続機器の音声フォーマットを PCM にしてみてください。 対応機器との接続や設定を見直しても送信機の動作ランプが点滅(赤)し続けるときは、AC アダプターをコンセントから抜き、5 秒以上待って再度 AC アダプターを差し込んでください。送信機が正常に動作しないときも、同様の方法をお試しください。
送信機が正常に動かない / 操作を受け付けない	<ul style="list-style-type: none"> AC アダプターをコンセントから抜き、5 秒以上待って再度 AC アダプターを差し込んでください。
USBケーブルで接続したときに送信機が検出されない	<ul style="list-style-type: none"> 接続機器を再起動してみてください。 送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合、USB ケーブルを使って接続し直してください。それでも点滅(赤)している場合は、USB ケーブルが劣化や破損していないか確認してください。

故障かな!? (続き)

症状	原因と対応のしかた
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> DC 5 V 出力電流が 1500 mA 未満の USB AC アダプターを使用時、正しく充電できない場合があります。DC 5 V 出力電流が 1500 mA 以上供給可能な USB AC アダプターを使用してください。USB AC アダプターやパソコンに複数の接続端子がある場合、使用する端子の供給能力を確認してください。 USB AC アダプターの機種によっては充電できない場合があります。 同じ USB AC アダプターで複数の機器を充電している場合は、他の機器を外してください。 USB ケーブルの仕様によっては充電できない場合があります。 室温は 5 °C から 35 °C (許容周囲温度) で充電してください。許容周囲温度の範囲内でも、動作中または動作終了直後に電池の温度上昇が検知され、充電できない場合があります。その場合は、使用を中止して本機を冷ましてください。
充電しても使用できる時間が極端に短い	<ul style="list-style-type: none"> 電池の寿命です。電池の交換は「修理に関するご相談窓口」(→ 付属の取扱説明書 表面)にお問い合わせください。
充電中の動作ランプが消灯しない	<ul style="list-style-type: none"> 満充電であっても、USB ケーブルを抜き差しすることで、再度充電状態になることがあります。(最大 10 分程度) DC 5 V 出力電流が 1500 mA 未満の USB AC アダプターを使用時、正しく充電できない場合があります。DC 5 V 出力電流が 1500 mA 以上供給可能な USB AC アダプターを使用してください。
本機の電源が勝手に切れる	<ul style="list-style-type: none"> 無線接続中に無音の状態が 5 分以上続いた場合、本機の電源は自動的に切れます。(オートオフ機能) 再度、本機の電源を入れてください。(→ 19) 電池残量がなくなると自動的に電源を切ります。 過大な入力信号があった場合、安全のために本機の機能が自動的に止まり、電源が切れる場合があります。 ご使用の環境温度が高い場合、安全のために自動的に電源が切れる場合があります。
正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> HDMI の入力端子と出力端子を間違えて接続していませんか。AC アダプターを抜いてから接続し直してください。(→ 13)
本機の動作ランプ (L)(R) が約 1 分点滅(緑)してから電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> USB からの供給電力が不足しています。DC 5 V 出力電流が 900 mA 以上供給可能な USB AC アダプターまたはパソコンの USB 端子を使用してください。または、USB ケーブルを抜いて電池で動作させてください。
送信機の動作ランプが点滅(赤)している	<ul style="list-style-type: none"> 入力ソースが USB の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ol style="list-style-type: none"> USB ケーブルを使って接続し直してください。 AC アダプターの抜き差しをしてください。 それでも点滅(赤)している場合は、USB ケーブルが劣化や破損していないか確認してください。 入力ソースが HDMI の状態で送信機の動作ランプが点滅(赤)している場合は、下記をお試しください。 <ul style="list-style-type: none"> - データフォーマットの異常が発生しています。接続機器の音声フォーマットを PCM にしてみてください。 対応機器との接続や設定を見直しても送信機の動作ランプが点滅(赤)し続けるときは、AC アダプターをコンセントから抜き、5 秒以上待って再度 AC アダプターを差し込んでください。送信機が正常に動作しないときも、同様の方法をお試しください。

故障かな！？(続き)

症状	原因と対応のしかた
送信機の動作ランプの点滅(水色)が消灯する	<ul style="list-style-type: none"> 本機と送信機が無線接続されていない場合、動作ランプは消灯します。 動作ランプは消灯しますが、本機の電源が入ると無線接続できます。本機と無線接続したり、[INPUT/-PAIRING] ボタンを操作すると、再び点灯します。
サラウンド感がない	<ul style="list-style-type: none"> 接続している機器の音声出力デバイスとして「Panasonic SC-GNW30 (Game)」が選択されているか確認してください。(→ 14) USB ケーブルを別の端子に差し直した場合やパソコンを再起動した場合に、パソコンの仕様によって設定が変わることがあります。その場合は、再度パソコンのサウンド設定を「Panasonic SC-GNW30 (Game)」に選択してください。 接続機器や再生するコンテンツがサラウンド(マルチチャンネル)出力に対応しているか確認してください。 接続機器のサウンド設定を確認してください。 ゲーム内のサウンド設定を確認してください。
チャット相手に音声が伝わらない	<ul style="list-style-type: none"> お使いのゲーム、チャット用アプリまたはミーティング用アプリなどの音声出力デバイスとして「Panasonic SC-GNW30 (Chat)」が選択されているか確認してください。 本機のマイクがミュート設定になっていないか確認してください。(→ 22) 接続機器のマイク音量を上げてください。 アプリ (→ 25) に、マイクテスト機能があります。ご自身のチャット音声が正しく聞こえるか確認してください。
チャット音声の音質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> お使いのチャット用アプリまたはミーティング用アプリなどのノイズ抑制機能をオフにして、再度試してみてください。
チャット音声の音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> 本機の音量だけでなく、各接続機器の音量も上げてください。
音量バランスモードで設定を変更したが、変更後のスピーカー出力音量が大きくならない	<ul style="list-style-type: none"> 本機には、音量が大きい時に制御機能が働いて出力を抑える機能があります。故障ではありません。音量を下げてから調整を行ってください。
アクティブサブウーハーからノイズ音などがする	<ul style="list-style-type: none"> 使用するときは、送信機に USB ケーブル、HDMI ケーブル(別売)、オーディオケーブル(別売)と AC アダプターを接続してから、アクティブサブウーハーの電源を入れてください。 アクティブサブウーハーの電源を切る、または音量を下げてから、送信機と接続している USB ケーブル、HDMI ケーブル(別売)、オーディオケーブル(別売)と AC アダプターを外してください。 オーディオケーブル(別売)が劣化していないか確認してください。
Bluetooth 機器が登録できない	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth 機器の状態を確かめてください。 Bluetooth 通信使用可能距離(約 10 m)を超えていませんか。送信機と Bluetooth 機器を近づけてください。

ソフトウェアの更新

動作の改善や、新機能の追加のため、当社は本機のソフトウェアを必要に応じて更新しています。
詳細については下記のサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/audio/download/>

お手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
 - 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、変色するおそれがありますので使用しないでください。

著作権など

SOUNDSLAYER はパナソニックホールディングス株式会社の商標です。

PS4、PS5 は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標です。

Windows、Xbox は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Nintendo Switch は任天堂株式会社の登録商標または商標です。

Mac、macOS は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。

QR コードは、(株)デンソーウエーブの登録商標です。

USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

Google、Android、Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

仕様

■ ワイヤレスネックスピーカー

■ 総合

電源

USB Type-C® DC 5 V

(出力電流が 1500 mA 供給可能な USB AC アダプター(別売)) : USB 充電時

USB Type-C DC 5 V

(出力電流が 900 mA 以上供給可能な USB AC アダプター(別売)) : USB 電源で動作時 ^{※1}

充電時間

約 4 時間

DC 5 V 出力電流が 1500 mA 供給可能な USB AC アダプター(別売)を使用時

周囲温度 25 °C / 電池を使い切った状態で充電時

連続使用時間

約 9 時間(工場出荷時の音質設定で当社規定音源のとき、Vol 8)

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

256 mm × 56 mm × 221 mm

質量

約 403 g

動作使用条件

許容周囲温度 5 °C ~ 35 °C

許容相対湿度 10 %RH ~ 80 %RH(結露なきこと)

USB 端子

USB Type-C

■ スピーカー部

フロントスピーカー (L/R)、リアスピーカー (L/R)

フルレンジスピーカーユニット Φ 約 38 mm コーン型 4 個

インピーダンス 4 Ω

■ アンプ部

実用最大出力合計値 (非同時駆動、JEITA)

8 W^{※2}(1 kHz、T.H.D. 10.0 %、4 Ω、20 kHz LPF)

■ マイク部

マイクユニット

MEMS 型 2 個

仕様(続き)

■ ワイヤレス送信機

■ 総合

電源

消費電力(動作時)	DC 12 V、800 mA (AC アダプター) AC 100 V - 240 V ~、50/60 Hz、0.3 A
スタンバイ時の電力(すべての接続機器の電源:切)	4.6 W 1.7 W
外形寸法(幅 × 高さ × 奥行き)	112 mm × 44 mm × 61 mm
質量	約 100 g
USB 端子	USB Type-C
HDMI IN 端子	HDMI 19 ピン Type A 端子
HDMI OUT(ARC) 端子	HDMI 19 ピン Type A 端子(ARC 対応)
音声出力端子	アクティブサブウーハー(別売)に接続用 3.5 mm ミニジャック

■ 共通

■ 内蔵専用無線モジュール

伝送方式	その他の方式
使用周波数範囲	2.4 GHz 帯
見通し通信距離	約 10 m

■ Bluetooth® 部

バージョン	Bluetooth® Ver. 5.3
対応コーデック	SBC、AAC、LC3
通信方式	FH-SS/ その他の方式
見通し通信距離	約 10 m

■ 音声フォーマット

USB	リニア PCM(最大 5.1ch)
HDMI	リニア PCM(最大 5.1ch)
テレビ (ARC)	サンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz リニア PCM(2ch) サンプリング周波数:32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

■ 対応機器※3

パソコン(対応 OS: Windows 10/11、Mac)※4、
PS4・PS5、Xbox、Nintendo Switch(テレビモード時)、TV(ARC)、
スマートフォン(対応 OS:iOS、Android™)※5

■ 付属品※6

USB ケーブル 約 1.0 m(ワイヤレス送信機を対応機器に接続用)
AC アダプター

仕様(続き)

- ※1 推奨電源能力(出力電流が 900 mA 以上)を持っていない機器から供給された場合は動作を停止させる場合がありますが、故障ではありません。
- ※2 USB AC アダプター接続状態で使用された場合は音量が小さくなります。
- ※3 対応機器と接続してご使用になる前に、必ず、各対応機器の取扱説明書をご確認ください。
- ※4 対応 OS を搭載しているすべてのパソコンの動作を保証しているものではありません。
- ※5 対応 OS を搭載しているすべてのスマートフォンの動作を保証しているものではありません。
- ※6 アクティブラブーケー(別売)に接続用のオーディオケーブルは同梱していません。
ノイズ発生する可能性があるため 3 m 以下のオーディオケーブル(別売)をご使用ください。

- 連続再生時間や充電時間は、使用条件や周囲の環境により変わります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 本機およびワイヤレス送信機、AC アダプターの定格銘板は、各機器の底面にあります。

廃棄するときのお願い

本機に内蔵している充電式電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

本機を廃棄するときは、一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄せず、お住まいの市区町村の条例に従ってください。

- 本機にはお客様の操作に関する情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、工場出荷設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。(→ 26)



次の安全上のご注意は、取り出した充電式電池に適用されます。



本機専用の充電式電池です

この機器以外に使用しない

取り出した充電式電池は充電しないでください。

- 火への投入・加熱をしない
- くぎを刺したり、衝撃を与えること、分解・改造をしない
- \oplus と \ominus を金属などで接触させない
- 外装シールを破ったり、はがさない
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など高温の場所で充電・使用・放置しない
- 水中への投入をしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。



次の安全上のご注意は、充電式電池取り出し時に適用されます。



取り外したねじなどは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

次の安全上のご注意は、取り出した充電式電池に適用されます。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

廃棄するときのお願い(続き)

充電式電池の取り出し方

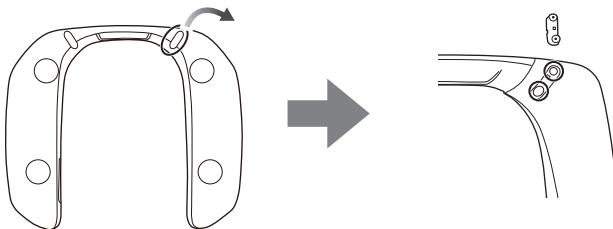
本機を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

この図は、本機を廃棄するための説明であり、修理の説明ではありません。一度分解すると、修復はできません。

- ・電池を使い切ってから分解してください。
- ・上手に取り出せない場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→付属の取扱説明書 表面)にご相談ください。

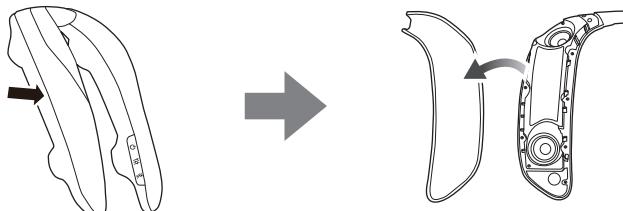
1 底面のキャップ(1つ)を外し、ねじ(2本)を外す

- ・市販の精密ドライバー(+、サイズ:No.0)で、ねじを外してください。



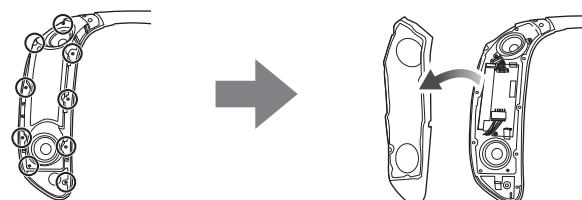
2 上面のカバーを外す

- ・市販のマイナスドライバーなどをカバーとキャビネットの隙間に入れてカバーを外してください。



3 ねじ(9本)を外して、内部カバーを外す

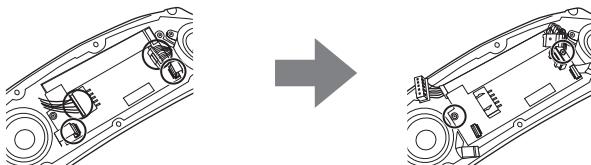
- ・市販の精密ドライバー(+、サイズ:No.0)で、ねじを外してください。



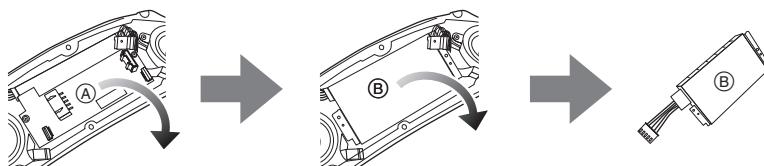
廃棄するときのお願い(続き)

4 コネクター(4か所)を外し、ねじ(2本)を外す

- 市販の精密ドライバー(+、サイズ:No.0)で、ねじを外してください。

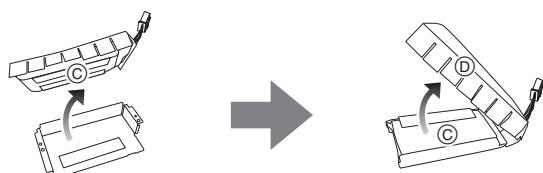


5 基板(A)を外し、電池ケース(B)を取り出す



6 電池ケースから電池(C)を取り出す

- 電池は両面テープで電池ケースに付いています。
- 電池ケースのふた(D)を電池から外してください。



使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式
リチウムイオン
Li-ion 00 電池使用

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



愛情点検 長年ご使用のネックスピーカーシステムの点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">・煙が出たり、異常なにおいや音がする・音声が出ないことがある・内部に水や異物が入った・本体に変形や破損した部分がある・その他の異常や故障がある
ご使用中止	故障や事故防止のため、本機の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

DVQP3386XA/X1
F0525KY2115